

# 本部青年部 大渡海 第二十九停泊所

発行日：2025年7月15日(火) 発行責任者：山口 明日波

編集責任者：武井 直人



東京清掃  横浜清掃

~いまもこれからも~

## 【第6回東京清掃青年部・横浜清掃ユース部合同学習会】

横浜清掃ユース部との合同学習会を今年も開催！！

都市間ごとの違いや同じ清掃労働者としての意見を議論し合い、“つながり”を拡大！  
専門部部長の3名は初の講演者として登壇！

#東京清掃労働組合 #青年部 #横浜清掃 #ユース部 #都市間を越えた #横のつながり #仲間



青年部大渡海 c h

登録者 3 8 6 1 人

### 《概要》

6月8日(日)星川清掃会館にて第6回東京清掃青年部・横浜清掃ユース部合同学習会を開催してきました。当日は、両単組より70名を越える多くの仲間が参加しました。今回の合同学習では、『フューチャー ~清掃のこれから~』というテーマで両単組より3名ずつの仲間が講演を行いました。東京清掃の講演では、特別区の働き方(車両や保護具含め)と東京清掃青年部がどういった取り組みを行っているのか、横浜清掃からは収集運搬・工場・し尿の3部門より、それぞれの業務や今後の課題について説明がありました。横浜清掃の講演では、普段聞く機会が少ない工場の働き方やし尿の業務について話を聞ける機会になりました。次に分散会では、9グループに分かれ、事前アンケートを基に、職場での悩みや不安、賃金について議論してきました。その中では、講演だけでは分からなかった疑問を確認し合いながら、お互いの違いについてさらに学習し理解を深めました。また、参加者からは「新規採用が増えてきたが未だ人員不足」「年齢が離れていることで人間関係にお互い苦労した」「人事評価制度のやり方に不満がある」といった共通の意見や「問題が起きてから見直す職場環境を変えたい」「今後も学習会を行い、自分の将来に関心を持っていきたい」などの前向きな意見が上がりました。学習会を通じ、他都市の仲間と交流しながら議論し合ったことで、多くの学びと強い“キズナ”を得ることができました。

当日の様子



【横浜清掃ユース部との合同の取り組みの起源って知っていますか？】

「もっとお互いに学び、交流しよう！」

その起源は、『都市清掃青年女性交流集会』にあります。

その当時出会った先輩たちがその場だけではなく、近隣都市同士でつながりを増やすという熱い気持ちから2018年に第1回が開催されました。

【し尿班ってどんな仕事？】

横浜市が直営で持っているし尿班では、横浜市にある公園や工事現場等の仮設トイレ、住民の家にあるくみ取り式トイレなど約2000カ所をバキュームカーに乗り、し尿や汚泥の回収を行なっています。その他にも、防災訓練、出前授業での簡易トイレの使い方のレクチャーや災害時には被災地で災害用トイレの設置や回収などの業務にもあたっています。

皆さん今回参加してみて、どうでしたか？

同じ清掃職場でも、違いが多くあることを知れて、勉強になった。

収集だけではなく、工場の仕事と危険性、し尿回収という仕事や災害時の仮設トイレなどの対応について詳しく知ることができて良かった。

仕事などの共通の悩みを共有し合えて良かった。自分たちが置かれている立場も知ることができた。

学習会だけではなく、フットサルやレクリエーションを合同で開催し、もっと交流を図ってみたい。

多くの参加ありがとうございました。1回きりではなく、次回も新たな仲間を連れてぜひ参加してください。共に都市間交流を一層深めましょう！参加者の感想は本部委員会でも示すので確認をお願いします。